

個別テーマ計画書(添付1)

No	
レベル-1項目	
レベル-2項目	
テーマ名	
現状	
実現方法	
KP&担当者	
目標スケジュール	
概略予算	
成果品の姿	

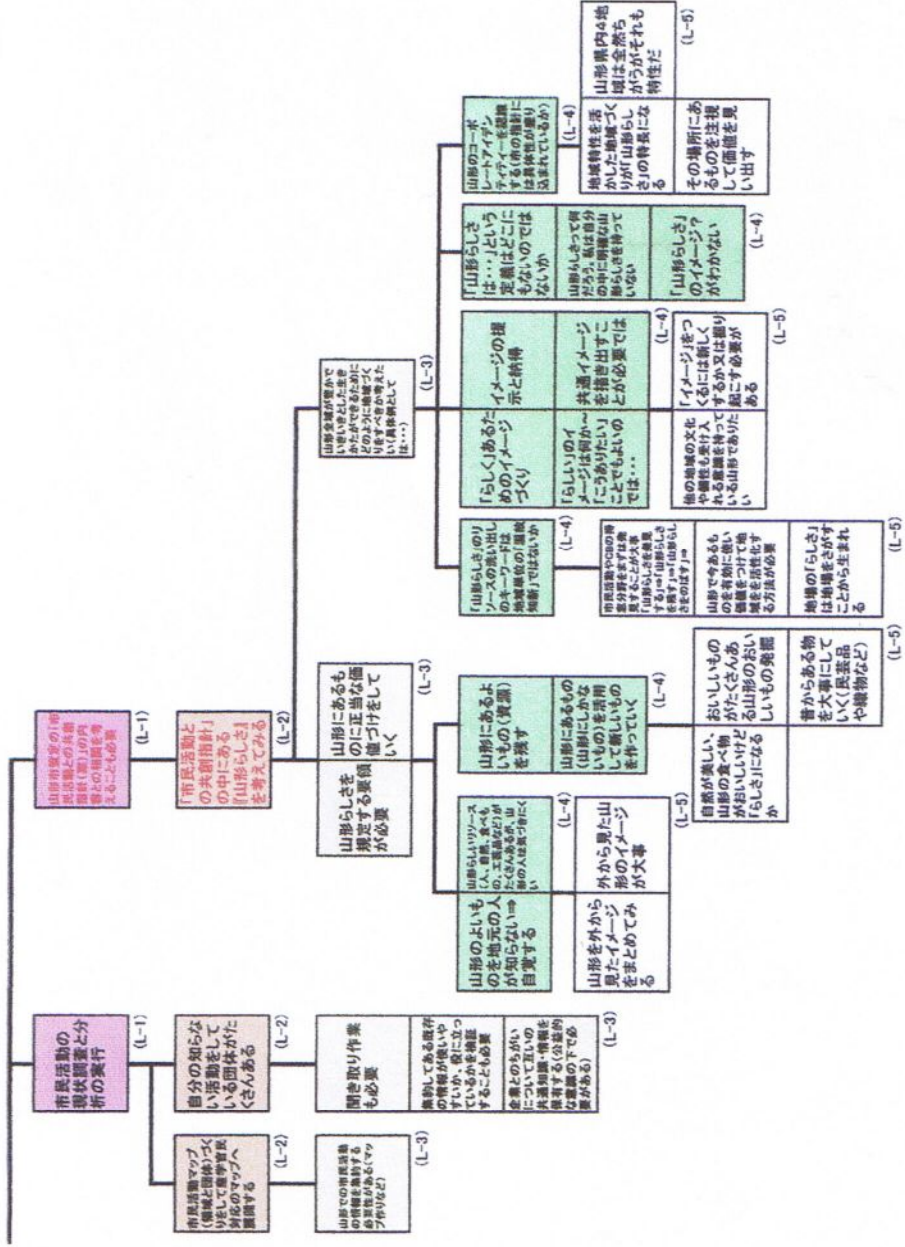
JOBコード □-□-□-□-□-□-□-□-□-□

作業工程表

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	納期	改訂	日付	摘要	作成	検討	承認
番号	項目							
備考	備考							
配付先	配付先							



	F	A	N	Y	Y	S	M	T	S	K	K	T	D	S	S	K	単純平均	加重平均	順位	
L-0	山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」にあるコンセプト「山形らしき」につながる「市民活動のあり方」について検討と提案する																			
L-1	市民活動が保有すべき機能(3本柱)の検討と確立																	0.14286		5
L-1	市民活動はその使命(ミッション)の保有、共有、確認が不可欠である																	0.20000		1
L-1	活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保が重要課題である																	0.18571		3
L-1	社会活動の中における「市民活動」の位置づけの明確化																	0.17143		4
L-1	市民活動の現状調査と分析の実行																	0.20000		1
L-1	山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」の内容との相関を考えることも必要																	0.10000		6
L-1	市民活動が保有すべき機能(3本柱)の検討と確立																	0.14286	(順位1)	
L-2	運動を支える「ハード」																	0.03265		
L-2	活動を支える「ソフト(しくみ)」																	0.34286		
L-2	活動を支える「人(運用する人&サービスを受ける人)」																	0.42857		○
L-1	市民活動はその使命(ミッション)の保有、共有、確認が不可欠である																	0.20000		
L-2	共通の大きな理念とその共有のためのネットワークのリーダーシップが不可欠																	0.61429		○
L-2	市民活動のあり方としてのキーワードとなるものは何か?																	0.17143		
L-2	市民活動は何をすべきか?を考えたい																	0.21429		○
L-1	活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保が重要課題である																	0.18571		
L-2	行政サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)																	0.55714		○
L-2	市民活動サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)																	0.44286		○
L-1	社会活動の中における「市民活動」の位置づけの明確化																	0.17143		
L-2	市民活動の可能性の検討																	0.22857		
L-2	市民活動と行政との(共創)関係の明確化																	0.37143		○
L-2	市民活動は誰のためのものかを確認する必要がある																	0.40000		○
L-1	市民活動の現状調査と分析の実行																	0.20000		
L-2	市民活動マップ(領域と団体)づくりをして産学官民対応のマップへ展開する																	0.58571		○
L-2	自分の知らない活動をしている団体がたくさんある																	0.41429		○
L-1	山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」の内容との相関を考えることも必要																	0.10000		
L-2	「市民活動との共創指針」の中にある「山形らしき」を考えてみる																	1.00000		○
L-2	運動を支える「ハード」																	0.03265		
L-3	それぞれを生かせる場所づくり(場)があればいい																	0.50000		◎
L-3	市民活動支援センター機能の強化と有効活用の検討																	0.50000		◎
L-2	活動を支える「ソフト(しくみ)」																	0.04898		
L-3	ネット社会の中でこそ情報(心がつながる)の伝達のしくみのあり方が重要である																	0.42857		◎
L-3	市民活動のあり方を検討して実行する上で体制についても検討が必要																	0.57143		◎
L-2	活動を支える「人(運用する人&サービスを受ける人)」																	0.06122		
L-3	活動グループそれぞれの特性を有効にプロデュース的にコーディネートする役割が必要(働きかけを行なうような機能的なもの)																	0.28571		◎
L-3	市民活動のネットワーク(中間支援、分野毎、etc)の構築																	0.71429		◎
L-2	市民活動のあり方としてのキーワードとなるものは何か?																	0.03429		
L-3	団体などの気質や資源、想い...これらの中にあるべき姿のそれぞれの要素が存在する																	0.03429		◎
L-2	市民活動は何をすべきか?を考えたい																	0.04286		
L-3	「山形らしき」につながる市民活動とは何でしょう?																	0.00918		
L-3	市民活動が山形らしきを形成するうえで大きな力を持っている(現場主義)																	0.03367		◎
L-2	行政サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)																	0.10347		
L-3	<一例> 支援施策の継続性確保(人、もの、資金、情報)																	1.00000		◎
L-2	市民活動サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)																	0.08224		
L-3	<一例> 財源確保の充実																	0.40000		◎
L-3	<一例> 活動運営スキルの向上																	0.60000		◎
L-2	市民活動の可能性の検討																	0.03918		
L-3	Win-Winの関係がなければ団体どうしの連携は進まない																	0.25714		◎
L-3	市民活動の分野毎にWin-Win関係を形成する「連携のモデル作り」を実施する																	0.42857		◎
L-3	市民活動と一口に言っても、その分野が大変幅広い																	0.31429		◎
L-2	市民活動と行政の(共創)関係の明確化																	0.06367		
L-3	信用力(ブランド力)のともなわない情報は活用されにくいので行政との連携や役割分担も必要																	1.00000		◎
L-2	市民活動は誰のためのものかを確認する必要がある																	0.06857		
L-3	市民のニーズの現状分析ができていない																	0.06857		◎
L-2	市民活動マップ(領域と団体)づくりをして産学官民対応のマップへ展開する																	0.11714		
L-3	山形での市民活動の情報を集約する必要がある(マップ作りなど)																	1.00000		◎
L-2	自分の知らない活動をしている団体がたくさんある																	0.08286		
L-3	聞き取り作業も必要																	0.24286		◎
L-3	集約してある既存の情報を使いやすいか、役に立っているかを検証することも必要																	0.38571		◎
L-3	企業とのちがいで互いの共通知識・情報を保有する(公益的な意識の下で必要がある)																	0.37143		◎
L-2	「市民活動との共創指針」の中にある「山形らしき」を考えてみる																	1.00000		
L-3	山形らしさを規定する要素が必要																	0.28571		◎
L-3	山形にあるものに正当な価値づけをしていく																	0.22857		◎
L-3	山形全域が豊かでありたいと生きたがることができたにどのように地域づくりをすべきか考えたい(具体例としては...)																	0.48571		◎
L-3	それぞれを生かせる場所づくり(場)があればいい																	0.01633		
L-1	各地区で、地域の街づくり活動について話し合える場が必要(公民館、その他...)																	1.00000		☆
L-3	ネット社会の中でこそ情報(心がつながる)の伝達のしくみのあり方が重要である																	0.02099		
L-4	情報は使われてこそ価値を生み出すのでは...																	0.62857		☆
L-4	市民活動情報の有効利用がないと興味がない																	0.37143		☆
L-3	市民活動のあり方を検討して実行する上で体制についても検討が必要																	0.02799		
L-4	情報を、必要としている人に届けるためには適切な人が介在することが有効だ																	0.45714		☆
L-4	市民活動間及び行政と市民活動間の「橋渡し」機能が必須である																	0.54286		☆
L-3	活動グループそれぞれの特性を有効にプロデュース的にコーディネートする役割が必要(働きかけを行なうような機能的なもの)																	0.01749		
L-4	各地域で活動を支えるコーディネーターをマネジメントする人材が必要																	0.35714		☆
L-4	個々の市民活動団体をつなぐキャタライザー(プロデューサー+中間支援機能)が必要																	0.35714		☆
L-4	市民活動をつなぐ、橋渡しをする人又は機能が必要⇒中間支援的機能																	0.28571		☆
L-3	市民活動のネットワーク(中間支援、分野毎、etc)の構築																	0.04373		
L-4	市民活動レベルでの連携・協働のしくみ(ネットワーク)づくりが必要																	0.52857		☆
L-4	異分野の団体の組み合わせが有効																	0.47143		☆
L-3	山形らしさを規定する要素が必要																	0.02857		
L-3	山形にあるものに正当な価値づけをしていく																	0.02286		
L-4	山形のよいものを地元の人が知らない⇒自覚する																	0.27143		☆
L-4	山形らしいリソース(人、自然、食べ物、工芸品など)がたくさんあるが、山形の人は気づきにくい																	0.18571		☆
L-4	山形にあるよいもの(資源)を残す																	0.27143		☆
L-4	山形にあるもの(山形にしかないもの)を活用して新しいものを作っていく																	0.27143		☆
L-3	山形全域が豊かでありたいと生きたがることができたにどのように地域づくりをすべきか考えたい(具体例としては...)																	0.04857		
L-4	「山形らしき」のリソースの使い出しのキーワードは地域単位の「温故知新」ではないか																	0.22857		☆
L-4	「らしくあるためのイメージづくり」																	0.15714		☆
L-4	「らしい」のイメージは何か「こうありたい」ことでもよいのでは...																	0.12857		☆
L-4	イメージの提示と納得																	0.10000		☆
L-4	共通イメージを描き出すことが必要では																	0.14286		☆
L-4	「山形らしき...」という定義はどこにもないのではない																	0.04286		☆
L-4	山形らしきって何だろう。私は自分の中に明確な山形らしきを持っていない																	0.08571		☆
L-4	「山形らしき」のイメージがわからない																	0.04286		☆
L-4	山形のコーポレートアイデンティティを認識する(市の指針には具体性が盛り込まれているか)																	0.07143		☆

L-4	情報は使われてこそ価値を生み出すのでは...											0.00625
L-4	市民活動情報の有効利用がないと興味がない											0.00625
L-5	問題を分析してそれに必要な情報を分配、提供する	1	4	1	1	2	0	1	0	0.14286		0.00689
L-5	情報利用者のニーズ把握も必要	1	2	4	2	3	0	2	0	0.20000		0.00125
L-5	NPOが持つ情報には価値があることを認識する	1	2	3	1	2	2	2	0	0.18571		0.00116
L-5	みんなが豊かになれるための情報、個人のニーズにこたえられるための情報を受発信する。	1	2	1	1	1	3	4	0	0.18571		0.00116
L-5	インター ネットではない人を動かす力のある情報(顔の見える情報)にある「信ぴょう性」「手作り感」「温かさ」「ぬくもり」が大切	6	0	1	5	2	5	1	0	0.28571		0.00178
L-4	個々の市民活動団体をつなぐキータライザー(プロデューサー⇒中間支援機関)が必要											0.00625
L-5	プロデュースするのは誰がふさわしいのか(個人&組織)	5	4	2	2	6	0	2	0	0.30000		0.00187
L-5	(他分野)の市民活動をつなげる人が必要	5	6	8	8	4	10	8	0	0.70000		0.00437
L-4	市民活動レベルでの連携・協働のしくみ(ネットワーク)づくりが必要											0.02312
L-4	異分野の団体の組み合わせが有効											0.02062
L-5	「市民活動同志」及び「市民活動と産学官連携」は少ないが、必要になる	4	3	6	2	5	10	7	0	0.52857		0.01090
L-5	問題や対象とするちがによって、グループの特性がらう。一様なネットワークや協働はなりにくいのでは...	2	1	1	2	0	0	0	0	0.08571		0.00177
L-5	情報提供と受領の二つを各グループが互いに持ち合うことが大切	3	5	2	4	5	0	2	0	0.30000		0.00618
L-5	NPOどうしが連携する事例はまだ少ない。→連携するメリットはあるのか?	1	1	1	2	0	0	1	0	0.08571		0.00177
L-4	山形のよいものを地元の人知らない⇒自覚する											0.00620
L-4	山形らしいリソース(人、自然、食べ物、工芸品など)がたくさんあるが、山形の人は気づきにくい											0.00424
L-5	山形を外から見たイメージをまとめてみる	5	6	8	5	5	5	9	0	0.61429		0.00261
L-5	外から見た山形のイメージが大事	5	4	2	5	5	5	1	0	0.38571		0.00164
L-4	山形にあるよいもの(資源)を残す											0.00620
L-4	山形にあるもの(山形にしかないもの)を活用して新しいものを作っていく											0.00620
L-5	自然が美しい、山形の食べ物がおいしいけど「らしさ」になるか	4	2	1	2	5	3	5	0	0.31429		0.00195
L-5	おいしいものがたくさんある山形のおいしいもの発掘	3	3	2	3	3	3	2	0	0.27143		0.00168
L-5	昔からある物を大事にしていく(民芸品や漬物など)	3	5	7	5	2	4	3	0	0.41429		0.00257
L-4	「山形らしさ」のリソースの使い出しのキーワードは地域単位の「温故知新」ではないか											0.01110
L-5	市民活動やでの得意分野をまずは発見することが大事(山形らしさを発見する)⇒「山形らしさを残す」⇒「山形らしさを生かす」⇒「山形らしさを広げる」⇒	4	5	1	2	5	2	1	0	0.28571		0.00317
L-5	山形で今あるものを有効に使い価値をつけて地域を活性化する方法が必要	3	2	7	4	3	7	1	0	0.38571		0.00428
L-5	地域の「らしさ」は地場をさがすことから生まれる	3	3	2	4	2	1	8	0	0.32857		0.00365
L-4	「らしく」あるためのイメージづくり											0.00763
L-4	「らしい」のイメージは何か〜「こうありたい」ことでもよいのでは...											0.00624
L-4	イメージの提示と納得											0.00486
L-4	共通イメージを描き出すことが必要では											0.00694
L-5	他の地域の文化や個性も受け入れる意識を持っている山形でありたい	5	4	6	9	6	5	6	0	0.58571		0.00406
L-5	「イメージ」をつくるには新しくするか又は掘り起こす必要がある	5	6	4	1	4	5	4	0	0.41429		0.00287
L-4	山形のコーポレートアイデンティティーを認識する(市の指針には具体性が盛り込まれているか)											0.00347
L-5	地域特性を活かした地域づくりが「山形らしさ」の特長になる	4	4	6	4	5	4	5	0	0.45714		0.00159
L-5	その場所にあるものを注視して価値を見出す	4	4	1	2	1	3	1	0	0.22857		0.00079
L-5	山形県内4地域は全然ちがうがそれぞれ特性だ	2	2	3	4	4	3	4	0	0.31429		0.00109
L-5	問題を分析してそれに必要な情報を分配、提供する											0.00689
L-5	情報利用者のニーズ把握も必要											0.00125
L-6	NPO間のネットの一つとしてタウン紙やミニコミ紙をつくる	4	5	1	8	0	3	4	0	0.35714		0.00045
L-6	ミニコミ誌をNPO同志で作る	4	2	1	1	3	3	5	0	0.27143		0.00034
L-6	生活が豊かになるための情報が入るしくみ	1	2	3	1	5	3	1	0	0.22857		0.00029
L-6	「情報」自体が価値を包むものだから、企業は情報を出さない、NPOが情報を出すのは損なのか? 情報をうる?	1	1	5	0	2	1	0	0	0.14286		0.00018
L-5	みんなが豊かになれるための情報、個人のニーズにこたえられるための情報を受発信する。											0.00116
L-6	ほしい情報がネットではなく、みえる情報、いかにせる情報とそのマネジメントは...	3	4	1	2	6	4	2	0	0.31429		0.00036
L-6	情報の新鮮さ、常に新しい情報を集める工夫	4	3	3	6	2	3	1	0	0.31429		0.00036
L-6	情報をどのようにして市民の方に伝えるか難しい	3	3	6	2	2	3	7	0	0.37143		0.00043
L-5	プロデュースするのは誰がふさわしいのか(個人&組織)											0.00187
L-5	(他分野)の市民活動をつなげる人が必要											0.00437
L-6	勤勉な山形人をどんどん活用し、本当の意味での生涯学習を進めるには人材育成が大切	3	5	3	2	4	7	5	0	0.41429		0.00181
L-6	例を活かす	7	5	7	8	6	3	5	0	0.58571		0.00256
L-5	「市民活動同志」及び「市民活動と産学官連携」は少ないが、必要になる											0.01090
L-5	問題や対象とするちがによって、グループの特性がらう。一様なネットワークや協働はなりにくいのでは...											0.00177
L-5	情報提供と受領の二つを各グループが互いに持ち合うことが大切											0.00618
L-5	NPOどうしが連携する事例はまだ少ない。→連携するメリットはあるのか?											0.00177
L-6	NPOどうしの連携のルールづくり(win-winモデル)	5	5	4	2	5	6	4	0	0.44286		0.00078
L-6	NPO同志の連携のルール、マナーが必要	5	5	6	8	5	4	6	0	0.55714		0.00098

山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」にあるコンセプト「山形らしさ」につなげる「市民活動のあり方」について検討&提案する	レベル1 単純平均	レベル2 加重平均	レベル3 加重平均	レベル4 加重平均
L-1 市民活動が保有すべき機能(3本柱)の検討と確立	0.14286			
L-2 活動を支える「人(運用する人&サービスを受ける人)」		0.06122	0.04373	0.02312
L-3 市民活動のネットワーク(中間支援、分野毎、etc)の構築				0.02062
L-4 市民活動レベルでの連携・協働のしくみ(ネットワーク)づくりが必要				
L-4 異分野の団体の組み合わせが有効		0.04898	0.02799	0.01519
L-2 活動を支える「ソフト(しくみ)」				
L-3 市民活動のあり方を検討して実行する上で体制についても検討が必要				
L-4 市民活動間及び行政と市民活動間の「橋渡し」機能が必須である				
L-1 市民活動はその使命(ミッション)の保有、共有、確認が不可欠である	0.20000	0.12286	—	—
L-2 共通の大きな理念とその共有のためのネットワークのリーダーシップが不可欠				
L-3 該当なし				
L-4 該当なし				
L-2 市民活動は何をすべきか?を考えたい		0.04286	0.03367	—
L-3 市民活動が山形らしさを形成するうえで大きな力を持っている(現場主義)				
L-4 該当なし				
L-1 活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保が重要課題である	0.18571	0.10347	0.10347	—
L-2 行政サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)				
L-3 <一例> 支援施策の継続性確保(人、もの、資金、情報)				
L-4 該当なし				
L-2 市民活動サイドの課題(市の指針から主要部をピックアップしてみる)		0.08224	0.04935	—
L-3 <一例> 活動運営スキルの向上				
L-4 該当なし				
L-1 社会活動の中における「市民活動」の位置づけの明確化	0.17143	0.06857	0.06857	—
L-2 市民活動は誰のためのものかを確認する必要がある				
L-3 市民のニーズの現状分析ができていない				
L-4 該当なし				
L-2 市民活動と行政の(共創)関係の明確化		0.06367	0.06367	—
L-3 信用力(ブランド力)のともなわれない情報は活用されにくいので行政との連携や役割分担も必要				
L-4 該当なし				
L-1 市民活動の現状調査と分析の実行	0.20000	0.11714	0.11714	—
L-2 市民活動マップ(領域と団体)づくりをして産学官民対応のマップへ展開する				
L-3 山形での市民活動の情報集約する必要性がある(マップ作りなど)				
L-4 該当なし				
L-2 自分の知らない活動をしている団体がたくさんある		0.08286	0.03196	—
L-3 集約してある既存の情報を使いやすいか、役に立っているかを検証することも必要				
L-4 該当なし				
L-1 山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」の内容との相関を考えることも必要	0.10000	0.10000	0.04857	0.01110
L-2 「市民活動との共創指針」の中にある「山形らしさ」を考えてみる				0.00763
L-3 山形全域が豊かでないときいきいきとした生かたができたように地域づくりにどのよう地域づくりにすべきか考えたい(具体例として				0.00894
L-4 「山形らしさ」のリソースの洗い出しのキーワードは地域単位の「温故知新」ではないか				
L-4 「らしく」あるためのイメージづくり				
L-4 共通イメージを描き出すことが必要では				

【番外】 先行モデルに学ぶ⇒「山形市福祉のまちづくり活動委員会」「NANAC-リンク」